

平成 23 年度

第 2 回理事会議事録

日時 平成 23 年 6 月 4 日（土）10：00～16：00

場所 プライムセントラルタワー名古屋駅前店 第 17 会議室

出席者：長濱、阿形、浅見、飯田、植木、内山、岡、日下部、七田、高橋（孝）、高橋（純）、竹井、玉手、筒井、寺北、中村、西田。委任状による出席：赤坂、小泉、真行寺、見上、赤坂。

理事会の審議に先立ち、玉手庶務幹事より、出席者 20 名（委任状を含む）で定足数を満たしていることが報告され、長濱会長により開会宣言が行なわれた。長濱会長が議長を務め、議事録署名人として玉手庶務幹事、寺北会計幹事が推薦され了承された。

I. 報告事項

1. 会長報告

長濱会長より、東日本大震災に関する学会の対応について、資料 1 に基づき説明があり、被災された会員に対して会費の免除等を行うことが報告された。また、成茂動物科学賞の募集の締め切りが 6 月中であることが述べられた。

2. 庶務報告

玉手庶務幹事より、資料 3 に基づき新入会員 204 名の加入が報告され、入会を承認した。続いて、学会事務局職員の異動 1 件と新規雇用 1 件に関する報告と、国際生物学オリンピック委員を中村正久理事に担当いただくことが報告された。

3. 会計報告

寺北会計幹事より、資料 4 に基づき、平成 23 年度科研費補助金に関して、**Zoological Science** 印刷出版費補助金 320 万円、データベース用補助金 80 万円の内定通知があったこと、国立情報学研究所から CiNii 返還金（動物学雑誌、彙報、**Zoological Science** の使用料）として約 56 万円が返還されたこと等が報告された。また、現時点で、震災による会費免除額が約 27 万円であること、大槌および女川の臨海実験所職員へのお見舞金の醸金額が約 212 万円であることが報告された。

4. UniBio Press からの購読料返還について

永井事務局長から資料 5 に基づき、返還額が説明された。

5. 平成 23 年度第 82 回旭川大会について

高橋孝行理事（北海道支部長）より、平成 23 年度第 82 回大会の準備が順調に進んでいること、演題の登録締め切りが 6 月 9 日で、予稿集の準備を進めており 6 月 29 日が入稿期限であること、印刷は杏林社に依頼することが報告された。なお、大会開催に関わる予算は 910～930 万円となる見込みと報告があった。

6. 北海道支部、関東支部からの報告

高橋孝行理事と岡理事から夫々、学会活動支援を目的とする寄付金について報告された。

7. その他

(1) 著作物掲載許諾について

永井事務局長から、資料 6 に基づき、みくに出版から、著作物掲載許諾願がきていることが報告された。

(2) 男女共同参画事業について

長濱会長から、日下部会員に男女共同参画委員会の委員長をお願いしたことが報告された。続いて、日下部委員長より、別添資料に基づき、以下の説明があった。

・第 5 期は 15 名の委員で構成する。内訳は男性 8 名、女性 7 名。九州支部については委員がいないので周知方法等について特にご配慮願いたい。

・旭川大会での男女共同参画企画のパネルディスカッションの話題提供者として適任と思われる方がいればお知らせ願いたい。

・第 5 期の重要な事業として、来年度は、学協会の連絡会の幹事学会として活動することがあげられる。

(3) 24 年度第 83 回大会について

西田理事（近畿支部長）より来年度の第 83 回大会について進捗状況の報告があった。主な内容は以下のとおり。

大阪大学豊中キャンパスで、来年の 9 月 13（木）から 15 日（土）の日程で実施する。会場予約は進んでいる。口頭発表中心にする予定である。大会場（受賞者講演や総会等）が無いので、2 日目の昼からは近くのホテル阪急エキスポパーク（ホテル）を会場とする。公開講演会や動物学広場を予定している。

II. 審議事項

第 1 号議案 平成 22 年度日本動物学会賞等について

西田学会賞等選考委員会委員長より、6 月 3 日の選考委員会において、以下の会員が受賞候補者として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。

日本動物学会女性研究者奨励 OM 賞

土原和子・同志社大学 ニュロセンシング・バイオフィグレーション研究センター

「有害物質の無毒化に関わる調節タンパク質の同定と機能解析」

四宮 愛・慶応義塾大学 法学部 自然科学（生物）

「性決定機構の多様化をもたらす性関連遺伝子の種内変異」

日本動物学会奨励賞

児玉有紀・高知大学 教育研究部 自然科学系 理学部門

「絨毛虫ミドリムシと共生クロレラとの細胞内共生成立機構の解明」

三浦徹・北海道大学 大学院地球環境科学研究院

「昆虫類における社会性と表現型可塑性に関する進化発生学的研究」

矢澤隆志・福井大学 医学部 分子生体情報学

「ステロイドホルモン産生の分子機構の解明」

日本動物学会賞

水波誠・北海道大学 大学院理学研究院

「昆虫微小脳の機能的設計に関する研究」

井口泰泉・自然科学研究機構 岡崎統合バイサイエンスセンター

「内分泌かく乱化学物質の生物影響に関する研究」

次いで、各賞の選考方法等に関する意見交換をおこない、会長からは、賞が増えているので、全体をみて整理したほうが良いとする考えが述べられた。会長から、学会賞の選考方法等を検討する WG を組織し、9月の理事会で改善について協議し、来年度の選考に間に合わせたい旨の提案があり、承認された。

第2号議案 平成23年度論文賞 Zoological Science Award 2011（藤井賞）について

倉谷 Zoological Science 編集主幹に代わり長濱会長から、2010年 Zoological Science に掲載されたすべての論文の中から、以下の8編が受賞候補として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。なお、以上の論文には藤井賞も併せ贈呈される。

1) Regeneration in Hemichordate *Ptychodera flava*.

Tom Humphreys, Akane Sasaki, Gene Uenishi, Kekoa Taparra, Asuka Arimoto and Kuni Tagawa. pg(s) 91-95.

2) Single-cell electrophoresis of fluorescent probes into sea urchin sperm cells and subsequent FRAP analysis.

Daisuke Takao and Shinji Kamimura. pg(s) 279-284

3) A quill vibrating mechanism for a sounding apparatus in the streaked tenrec (*Hemicentetes smispinosus*)

Hideki Endo, Daisuke Koyabu, Junpei Kimura, Felix Rakotodndraparany, Atsushi

Matsui, Takahiro Yonezawa, Akio Shinohara and Masami Hasegawa. pg(s) 427–432.

4) Aggregating behavior of the grass puffer, *Takifugu niphobles*, observed in aquarium during the spawning period.

Eiji Motohashi, Takeshi Yoshikawa, Doi Hiroyuki and Hironori Ando. pg(s) 559-564.

5) Ontogeny and function of the fifth limb in cypridocopain ostracods.

Tomonari Kaji. pg(s) 673-677

6) Population structure of *Aegialite* Beetles (Coleoptera, Salpingidae) on the coasts of Hokkaido, northern Japan.

Sumire Hojito, Norio Kobayashi and Haruo Katakura. pg(s) 723-728.

7) Transposon-mediated enhancer detection reveals the location, morphology and development of the copular organs, which are putative hydrodynamic sensors, in the ascidian *Ciona intestinalis*.

Naoyuki Ohta, Takeo Horie, Nori Satoh and Yasunori Sasakura. pg(s) 842–850.

8) New Carnivorous sponges oh the genus *Abyssocladia* (Demospongiae, Poecilosclerida, Cladorhizidae) from Myojin Knoll, Izu-Ogasawara arc, southern Japan.

Yuji Ise and Jean Vacelet. pg(s) 888–894.

第 3 号議案 平成 23 年度補正予算案について

科学研究費補助金内定を受けた収入増加と、震災対応の会費減少等を受けた補正予算案が、資料 8 に基づき、寺北会計幹事より提案された。また、事業費の学術誌刊行費に含まれていた人件費相当分を分離して、管理費として計上したことが説明された。意見交換のち、全員一致で原案どおり承認された。

第 4 号議案 平成 24 年度予算案について

来年度予算案について、資料 9 に基づき、寺北会計幹事より以下の説明がなされた。

- ・論文掲載料を無料化することにより、学術誌刊行収入で 240 万円の減額となる。
- ・編集費が 330 万円の減額となったのは、人件費を事業費として別途計上したことによる。

続いて、意見交換のち、来年度予算で論文掲載料を無料化することが承認された。次いで、支部の活動計画を立案するうえで支部活動費を明確にすることが必要との意見が高橋純夫理事より出され、会長からは、本予算案のうち、支部活動費については再検討のうえ、次回理事会で協議、総会で決したいとの提案があり、承認された。

第 5 号議案 動物学教育賞について

高橋孝行理事および浅見理事より、資料 10 に基づき、動物学教育賞の選考方法等について、将来計画委員会（浅見理事、竹井理事、松島理事、高橋（孝）理事）で協議したことが報告された。

意見交換ののち、会長から、今年度の候補者選考については、これまで検討していただいた将来計画委員会にお願いし、副賞として 5 万円程度の賞金を考えたい旨が提案された。意見交換ののち、選考については将来計画委員会において 8 月中に検討願い、9 月理事会において決定し、総会では報告事項とすることとなった。資料 10 の推薦書等の書式については、若干の修正を行うこととなった。

第 6 号議案 名誉会員候補者推薦について

長濱会長より、資料 11 に基づき、名誉会員の選考対象者について説明があった。意見交換ののち、会長から、学会賞、支部長経験等の経歴を各支部で確認願い、8 月末までに事務局に連絡願いたいことと、9 月理事会において名誉会員候補者をご提案いただきたい旨が述べられた。

第 7 号議案 感謝状贈呈について

長濱会長より、資料 12 に基づき、お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センター技術専門職員の山口守氏に感謝状を贈呈することについて清本正人会員と中村正久会員から推薦があった旨が報告され、承認された。

第 8 号議案 公益法人化について

阿形副会長より、別添資料 2 に基づき、公益法人化に関するワーキンググループの検討状況と、公益法人の定款案について説明があり、意見交換が行われ、以下の事項について合意された。

- ・現在の一般会員、学生会員、中高教員会員、永年会員をもって、公益社団法人の社員とする。それに伴い、総会における出席率を上げるための更なる努力が必要であることが確認された。
- ・事業年度（案）は 7 月 1 日から翌年の 6 月 30 日までとする。
- ・理事とは別に、学会賞選考等にあたる評議員（仮称）を支部単位で選出する。

以上の意見交換ののち、公益法人化することが承認された。会長からは、6 月中に、会長と事務局長が公益法人認定委員会に出向き協議し、その経過を HP で報告したうえで、9 月総会で最終決定したい旨が述べられた。

平成 23 年 6 月 4 日

議長 長濱 嘉孝
議事録署名人 寺北 明久
議事録署名人 玉手 英利